

2023 年度 第 1 回医療安全監査委員会 結果概要

日時：2023 年 8 月 22 日（火）13：00～15：50

場所：国立国際医療研究センター病院 幹部会議室

出席者：（外部委員） 山本 知孝 東京大学医学部附属病院環境安全管理室長

細川 大輔 細川大輔法律事務所弁護士

島 宏一 グリー株式会社取締役監査等委員

（内部委員） 武井 貞治 国立国際医療研究センター企画戦略局長

込山 愛郎 国立国際医療研究センター理事長特任補佐

（院内参加者） 杉山 温人 病院長

宮寄 英世 副院長・医療安全管理責任者

高本 真弥 医療安全管理部門長・室長

早川 祥子 医療安全管理者

百武 弘志 医薬品安全管理責任者

深谷 隆史 医療機器安全管理責任者

大曲 貴夫 国際感染症センター長

堀井 久美 専従感染管理認定看護師

河合 公生 総務課長

高田 賀将 患者相談専門職

伊藤 哲麻 医療安全管理室事務係長

■ 報告・審議事項

- ・ 医療安全管理室構成員について
- ・ 医療に係る安全管理のための委員会（医療安全管理委員会、リスク分析委員会、医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会、医薬品安全管理委員会）
- ・ 医療安全管理部門への報告（インシデント・アクシデントレポート、患者影響レベル 3b 以上事例、患者影響レベル 3a 事例、患者影響レベル 2 以下事例、合併症事例）
- ・ 事例検討会
- ・ 外部への報告（医療事故情報収集等事業、事故調査委員会）
- ・ 医療安全に係る研修実施状況
- ・ 第三者評価
- ・ 医療安全に係る取り組み（医療安全管理委員会院内ラウンド、リスクマネージャー会議、医療安全パトロール、NCGM 秋の医療安全推進週間、転倒・転落対策チーム、個人情報の漏洩に関する取り組み）
- ・ 未承認新規医薬品等評価部報告
- ・ 高難度新規医療技術評価部報告
- ・ 紛争事案
- ・ 院内感染管理室報告

■ 講評

- ・ 医療安全管理室の人員が増員され体制が強化されたことは望ましいことであり、評価する。
- ・ 各事例について適切かつ詳細に検討がされている。特に新たに開始された死亡事例に関する院内合議の取り組みは画期的であり非常に望ましい取り組みである。今後も継続的に取り組んでいただきたい。
- ・ レベル・カテゴリー別インシデントレポート数として患者影響度別に集計がされているが、患者影響度だけでは測れない重要な事例も存在するため、事例の内容を適切に判断し分析および再発予防策の検討を行っていただきたい。
- ・ 感染管理について多種多様な指標が集積され、適切に現状および課題の把握がされている。既に把握している課題について引き続き取り組んで頂きたい。

- ・ 新たに開始された病棟ケアプロセスは非常に望ましい取り組みである。臨床現場における業務負担への配慮および医療安全と感染管理の両立について検討を進め、今後さらなる充実を図っていただきたい。

【指摘事項への対応】

- ・ 増員により業務遂行の一層の充実を図る。
- ・ 合議を要する死亡事例の抽出に留意する。
- ・ 患者影響レベル 3a 以上以外的事例のうち必要なものに関して分析・再発予防策の検討を詳細に行う。
- ・ 感染管理について、現状の課題への取り組みを継続する。
- ・ 病棟ケアプロセスの取り組みを充実させ、臨床現場における医療安全と感染管理の両立を図っていく。